

## 集中講義

「微分位相幾何学特選」

「微分位相幾何学特論（修）」

「幾何学特殊講義ⅡⅢ（博）」

納谷 信 講師  
(名古屋大学 教授)

- \* 期間： 12月3日（火）～ 12月6日（金）
- \* 時間： 15：00～18：00
- \* 講義題目：「離散群の剛性への幾何学的アプローチ」
- \* 内容： 離散群とはとびとびの元からなる無限群であり、この群の空間への作用が極めて限定される場合に、離散群は剛性をもつという言い方をする。離散群の剛性を幾何学的に研究する手法として、調和写像の離散類似を用いる手法があり、Gromovはこの手法とランダム群という確率論的手法を結びつけて、極めて強い剛性を持つ離散群が豊富に存在することを主張した。この講義では、このGromovの議論について解説する。時間がゆるせば、このテーマと密接に関連する非線形スペクトルギャップを評価する手法も紹介したい。
- \* 談話会： 12月2日（月） 16：00～  
「離散群の剛性への幾何学的アプローチ—個々の群からランダム群へ—」
- \* 場所： 川井ホール